

2023～2024年度 小倉中央ロータリークラブ週報



世界に希望を生み出そう

第1319回 例会

11月20日(月)

本日の卓話 「自己紹介」
樋口 利雄会員

例会日 月曜日 12:30～13:30
例会場 リーガロイヤルホテル小倉
事務所 小倉北区堺町1-2-16-3F
TEL 093-531-4015
FAX 093-531-1022

会長の時間 (11月13日 1318回 例会記録) 梶原会長

出席報告 11月13日

UFO(未確認飛行物体)に関しては、誰もが一度は関心を持った事があるのではないのでしょうか。しかし、今まではあくまで空想の話であり、その真偽は研究家達の中でも様々でした。

では何故近年、アメリカは UFO を認め、その研究調査をしている事を公にしたのでしょうか。

それはアメリカが、UFO を開発しているからです。正確に言うとオーバーテクノロジー満載の、新しい航空機を開発しています。それは TR-3B と言われる航空機です。(まだアメリカ政府は認めてませんが)

UFO と言えば円盤や葉巻型などが有名ですが、これは三角形のシルエットをしています。最近では目撃情報も多く、映像にも多数納められています。その動きは、我々がイメージする UFO にかかなり近いものです。

UFO 関連の情報開示に踏み切ったのは、TR-3B がある程度完成に近づきつつあるからではないかと言われています。その根拠として、2019 年にイギリスの『メトロ』誌の記事によりますと、米海軍が驚愕の技術の数々を特許申請したといいます。その中には TR-3B と思われる三角形の航空機が含まれていました。その航空機は、重力波を発生させて慣性力を制御する性能を持ち、機体の表面に粒子の泡を形成させる事で超高速飛行を可能にするだけでなく、海中や宇宙空間でも自由に行き来出来ると言います。まるで UFO のような動きを可能にする技術の数々の為、これは米海軍による「UFO 特許」だとして話題になりました。更にこの半年後には、米海軍が小型核融合炉の特許申請をしたという事です。どちらも現代科学においては実現不可能とされていますので、とんでもないオーバーテクノロジーだといえます。しかし実際に特許申請がされているという事は、すでに実験段階に入り、数年後の実用化のめどがたつたと推察されます。だからこそ、三角形の飛行物体が度々目撃されていて、それが TR-3B ではないかと言われているのです。

では何故、アメリカだけがこんな開発が出来たのでしょうか。それが UFO 事件として最も有名な「ロズウェル事件」です。これは 1947 年 7 月に、アメリカ合衆国ニューメキシコ州ロズウェル付近で墜落した UFO が、米軍によって回収されたと言われる事件です。UFO は「エリア 51」という、米国ネバダ州の砂漠にある空軍基地に運ばれたとされています。事件以来、そこで UFO や宇宙人に関する研究がされると噂されていましたが、アメリカ政府は長らく「エリア 51」の存在を否定していました。しかし 2013 年に CIA が「エリア 51」は実在すると公式発表しています。(何をやっているかは不明のままですが)そこで UFO のリバースエンジニアリングによる研究がされていたのではなかと言われています。

会長の時間でも話しましたが、今アメリカは次々と UFO 関連の調査研究機関を設け、多額の国家予算を計上しています。来年以降新たな情報が続々と出てくるかも知れませんので、刮目して待ちましょう。

※リバースエンジニアリング・・・新しい技術などを分解または解析し、その仕組みや仕様、構成部品、技術や設計、などを明らかにすること

在籍会員数	43名
義務出席者	40名
ゲスト	0名
ビジター	0名
本日出席数	31名
本日出席率	77.50%
前々回修正出席率	90.69%

次回 (11月27日) の卓話は、

「自己紹介」

溝尻 武則 会員

11月のお誕生日

- 2日 長山 洋子会員
- 3日 村口 年治会員
- 7日 古川 裕宣会員
- 11日 原田 緑会員
- 19日 野口 晃会員
- 29日 石崎 弘義会員

今月の主な予定

- 6日(月) 定例理事会
- 7日(月) 社会奉仕委員長会議
- 11日(土) インターアクト例会
- 18日(土) 地区 R 情報 委員会
- " ソフト&BBQ
- 22日(水) 二水会
- 25日(土) 暁の鐘学園視察&交流会

幹事報告

森本幹事

・イレブンの会報告

11月8日、庄吉にて第2回 イレブンの会が開催されました。

来年1月のIMについての説明とお願いがありました。

武内市長とのディスカッションにパネラーとして梶原会長が登壇します。

懇親会もあわせてご出席をお願いします。

IM日時 1月20日(土) 13:30～

開催場所 松柏園ホテル

・チャリティバザーの収益金(93,050円)のうち10,000円をポリオ基金へ寄付いたしました。

卓話の時間

「自己紹介と53年間の気づき」 友田 信明 会員



こんにちは。株式会社友信の代表取締役友田信明です。まず初めに本日、このような機会を与えていただいた小倉中央ロータリークラブの会長はじめ、会員の皆様方、誠にありがとうございます。

本日は、「自己紹介と53年間の気づき」というテーマで、お話しさせていただきます。

現在の事業内容は、溶接作業を中心とした鉄鋼関係の仕事を行っています。趣味は約二年前から蕎麦打ちにはまり、蕎麦を家族や友人に打って、楽しんでおります。

家族は19歳年下の妻と、5歳の息子がいます。私は初婚ではありません。その辺りもお話ししていきます。

私は、大阪府で生まれ、1歳の時に母親を病気で亡くし、1歳半の時に、母親の実家である、北九州市八幡東区にきました。父親は大阪に残っていたので、母親側のお爺ちゃん、お婆ちゃんにそれは大切に育てていただきました。大切に育てていただいたのですが、14、15歳くらいから少しづつ反抗期になり、軽いヤンチャをするようになりました。当時の私のバイブルは矢沢永吉さんの「成り上がり」でした。

小学校からサッカーもやりましたが、友人達と遊ぶ事も楽しんでました。高校は八幡中央高校を卒業。その後、山九プラント工業(現、山九プラントテクノ(株))に就職、そして26歳で退職し、「友田溶接工業」を創立しました。私は常に誰かを目標にして頑張るタイプでしたので、独立後も目標とする社長を目指していましたが、40歳を過ぎた頃、その社長を抜いたと思ひ、これからは自分が目標とされる人間になっていこうと決意しました。

今までのスタイルを変えていこうと思ひ、行った事もないセミナー等に行くようになりました。

その一つに早朝に勉強会を行ってる会があり、そこで様々な気づきを得ました。

家族、祖先、仕事、全ては繋がってる、組織の核は夫婦、自分を変えることで、周りも変わってくる等。

当時の私は離婚して、独身でしたが、夫婦が組織の核となると思いはじめました。

その勉強会で、あるアドバイスを頂きました。友田さんは女性に母親を追い求めているから、女性との関係が上手くいかない、亡くなった母親に自分の正直な気持ちを伝えなさいと言われました。正直な気持ちとは、「なんでお母さんは、1歳の私を残して死んでしまったんだ。だからこのような状況になってるんだ。

どうしてくれるんだ！」という事でした。それをしないと、仮にまた結婚話が進んでも必ずダメになります。それはできないと思ってましたが、ある時、今の妻が私の前に現れ、結婚したいという感情が芽生えてきました。そこで、その実践をしました。私の1番好きな母親の写真に向かって、言いました。「なんで、あなたは幼い私を残して死んでしまったんだ！どうしてくれるんだ！」

すると涙がぼろぼろ溢れてきて、気がつくと嗚咽してる自分がいました。今考えると、1歳当時の私はこのような気持ちで泣いていたんだろうと・・・。

それから、私の気持ちを伝え、結婚することができました。今では5歳になる息子もいます。

その後、業績もアップして、妻の美容事業も取り入れてます。

心の状態をよくすることで、未来も良くなっていくという気づき、感謝の心、尊敬の心、喜びの心を大切にしていこうと決めました。

後、日本人の「和える」という文化を大切にしていこう。

別々の考え方、価値観の方々がいっても、尊重して、一つの組織を作り上げるという文化を、もう一度深く考え、行動していこうと思ひます。今後ともよろしくお願ひいたします。有難うございます。

ニコニコ献金報告

累計 227,750円

梶原・森本・野村会員—友田さん、本日の卓話とても楽しみにしています！

友田会員—本日の卓話、大変緊張していますがよろしくお願ひします。

鍋島会員—梶原会長、①アダムスキーの説明ありがとうございました。②次回のマイルチャンピオンシップは、是非頑張ってください。

野村会員—先週は、お休みして申し訳ございませんでした。鍋島さん、代打ありがとうございました。

合計 8,000円